



教育の重点：『心を育てる教育・確かな学力・環境教育・SDGs』

重点目標：【めざす子ども像】『思いやり（命）・協力・学びに向かう姿勢』

【教師のスローガン】

「挨拶・丁寧・迅速・チーム意識」

今後（秋）の学年別校外学習・行事について

①学校としての方向性

今秋に実施予定のバス・公共交通手段を利用する校外学習や行事は、中止とし、校外行事（遠足）

については、可能な代替案を企画します。また、今後の感染状況を注視し、実施可能な状況であると判断した場合に、再度、検討する余地は残します。結果として、今年度は、学年により実施の有無を含め異なる対応となる可能性もあります。

②各学年の校外学習と校外行事

- 1年生：11/19（木）茅ヶ崎中央公園（徒歩）…実施 雨天時は11/26（木）茅ヶ崎公園
2年生：11/18（水）みかん園・平塚総合公園（バス利用）→茅ヶ崎中央公園への遠足予定
3年生：よこはま動物園（ズーラシア）（バス利用）→3月に実施できるか検討継続
4年生：11/17（火）宮ヶ瀬ダムほか（バス利用）→歩き遠足の予定
5年生：11/26（木）日産自動車工場（バス利用）→中止（見学先が見学を中止）
キャンプ→中止→時期を含めて、泊を伴わない代替案検討中
6年生：10/22（木）鎌倉学習→中止→目的・内容を含めて代替案を検討中
修学旅行→中止→時期を含めて、泊を伴わない代替案を校長会で検討

③方針決定の理由

- A「感染防止対策」 B「校外学習・行事の目的」 C「費用（バスなどのキャンセル料）」
D その他（参加への不安・周囲の見方・考え方との相違など） の観点から検討しました。

【校外行事（遠足等）】について

A バスの利用についてですが、優れた換気機能を有するバスを利用した場合でも、密集は避けがたく、また、密接に関しても教室以上に隣同士が近い状態が、場合によっては数時間続くことが考えられます。ただし、学校生活では、休み時間など、バスの中より密接となる場面もあり、学校と比べて特にバスの中の方が感染リスクが高いとは言えないと考えます。

校外に出て、不特定多数の人と接することについては、一般的に、日本社会ではほとんどの人がマスクを着用している状況であり、児童もマスク着用、手洗いの徹底（学校からアルコール等を持参することも考えられます。）、人との距離を保つなどの対策によって、ある程度リスクを回避できると考えます。校外だからといって学校より特段に感染リスクが高まるとは考えません。その一方で、感染者の中に感染ルートが定かでない人が多いことから、不安は拭きません。悩ましい問題です。

B 例えば、集団活動を通じて「協力することの大切さや思いやりの心を育てる」「ルールやマナーを守る

社会性を身につける」「同じ空間と時間、場所を共有することでの思い出作りを行う」などの校外行事（遠足）の目的は、必ずしも例年通りのバス利用や目的地でなければ達成できないものではありません。

C 新型コロナウイルスに本校の関係者が感染した場合、状況にもよりますが、バスのキャンセル料が発生する可能性があります。その際のキャンセル料は、2年生の場合、3日前から児童1人当たり1076円、3年生では前日では1016（当日は1270）円、4年生では7日前から約800円（当日では約1000円）となります。このキャンセル料のご負担は、保護者の皆様をお願いすることになってしまいます。

D 参加することへのお子様、保護者の皆様のご不安や周囲からの（実施に反対する）ご意見等については、真摯に受け止めながら、学校の具体的な感染防止策を含む学校の考えをご説明し、ご理解をいただくしかありません。ただし、現地等での一般の方からの心無い誹謗中傷を避ける手立ては難しく、その場合はその方に学校の連絡先を伝え、管理職が丁寧に説明したいと考えます。

【校外学習】（4年：宮ヶ瀬ダムなど 5年：日産工場 6年：鎌倉学習）について

A 4年生と5年生の校外学習はバスを利用する予定でした。6年生の鎌倉学習は、公共交通手段（電車）を使うこととなります。そのため、班員の人数を少なくし、通勤時間を避けた時間帯を利用し、更に、混雑しやすい車両を避けて乗車することで、感染リスクを減らすことができると考えます。また、密集した場合でも、班員が分散したり、班で車両内を移動することも可能であり、マスクの着用、できるだけ手すりやつり革に触らない、会話は最小限に止めるなどの対応で感染リスクを下げることも可能と考えます。

B 現地を訪問するため代替学習は難しい。

C 公共交通手段を利用するため、キャンセル料は発生しない。（団体チケットも使用しません）

D **【校外行事（遠足）】**の④を参照してください。

→校外学習は、校外行事とは異なり教科学習の一環であり、学校教育の最も基本的な活動です。また、現地の様子を知ることや、そこで働く人たちの生の声を聴くことは、他の代替学習では得ることのできない貴重な体験となります。その意味では、キャンセル料の発生等のリスクがあったとしても、可能な限り実施したいと考えます。

しかしながら、4年生と5年生については、相手側の受け入れが中止となってしまったため、実施することができなくなりました。6年生の鎌倉学習は、通常であれば、鎌倉についての事前学習を行い、自分たちの班の探索ルートも班ごとに決定します。現地では、自分たちの判断で探索ルートに沿って自主的に行動します。この意味では、単なる教科学習だけではない、社会性を身につける活動でもあります。

このような特徴を持つ鎌倉学習について、6学年の教員は、どうすれば感染リスクを減らしながら、目的を達成することができるのか、細部にわたる検討を繰り返してきました。そして、その報告を管理職が受けて学校として方針（中止）を決定いたしました。

理由としては、行き帰りの電車での感染リスクを減らすために、混雑する時間帯等を避けることで、実際の鎌倉での活動時間が短くなってしまいます。また、公園等で食事をする昼食時の密を計画的に防ぐためには、いくつかの昼食時間帯毎に集まる班の数を制限するなどの工夫が必要となり、そのためには、自由で個性豊かな探索コースを子どもたちに作らせるのではなく、いくつかのモデルコースを（教員側で）設定し、児童に選ばせる必要があると考えました。その結果、コースづくりの自由度は下がり、学習面と社会性の獲得という面での教育的効果が相当薄れてしまうとの結論に至りました。十分な教育的効果が見込めない中、現在、神奈川県での感染者数がなかなか減らない状況となっております。このような状況の下では、現地や電車の中などで、残念ながら子どもたちの活動に対してご理解いただけない方と遭遇する可能性もあり、子どもたちの心にマイナスのイメージが残ってしてしまう可能性も否定できません。

これらの理由から、鎌倉学習も中止とさせていただきます。今後は、少しでも子どもたちが満足できる企画を考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。